

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	①	アニメ等聖地化推進観光拠点整備事業【新規】	
担当課名	観光商工課		所属長名 安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○地域資源（ひと）を最大限に活用し、アニメやマンガの「聖地」というイメージの定着・発展を図り、若者や外国人等の観光誘客を図ること。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○地域資源（ひと）を最大限に活用し、積極的に魅力を発信していきながら、交流を通じて町のイメージアップに努めていくため町出身で活躍されている方々のアニメやマンガの舞台モデル地を活用するなど各種事業を実施し、「聖地」というイメージの定着・発展を図り、若者や外国人等の観光誘客を図る事業。				○取り組み実績なし。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○取り組み実績なしのため、成果なし。				○事業の進め方について検討が必要である。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○町出身のアニメ・マンガに関する人材のリスト化及び、町が舞台になっているアニメ・マンガのリスト化を行う。						

担当課評価	C	○事業に取り組むことができなかったため、情報収集などから取り組んでいく。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	②	しま共通地域通貨事業	
担当課名	観光商工課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○島外からの来島用のプレミアム付地域通貨(H28.10月より電子通貨化)を販売し、地域産業の活性化を図る。長崎県内の複数のしま共通で使えるプレミアム付き地域通貨を発行し、全国からの観光客やビジネス客をしまに誘致し、しまでの消費促進を図りしまの地域経済を活性化する。また、しまが持つ特色や地域資源を全国に向けたPRすることで交流人口の増加を通じて、しまの人口減少に歯止めを掛ける。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○長崎県内離島(対馬を除く)において、共通で利用できる2割プレミアム付き商品券(電子通貨)『しまとく通貨』を販売する。				○2割プレミアム分に係る参加自治体割による負担額 14,684千円 【参考】 ・新上五島町換金実績 36,602千円 ・県全体換金実績 291,417千円 ・島内しまとく加盟店 112店舗(H29.3.31) ・しまとく販売所 7ヶ所(H29.3.31)		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	47,134千円				47,000千円	134千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○プレミアム分(2割)のお得な地域共通通貨により購入者が多く、地域経済活性化の一翼を担った。				○商品券という紙から、電子通貨に変更になったことにより、利便性は高まったが、利用者が若年層へと推移した。閑散期対策と位置づけたことにより、販売期間が10月～3月(一般販売)となり、販売数が減少した。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○利用者の利便性向上を目指し、利用できる加盟店舗の確保に努める。						

担当課評価	B	○旅行会社等にツアー、団体向けしまとく通貨販売を行っており、団体旅行商品の一つの魅力になっている。また、電子通貨により、紙発行時のように換金等の手間がなくなり、加盟店舗の手数料の減額が望まれる。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	③	五島の日登録を契機とする交流推進事業	
担当課名	総合政策課		所属長名 小柳 哲也
関係課名			

1. 事業の目的						
○合併10周年を記念して、5月10日を「五島の日」に制定したことを契機に、町の魅力を広く町内外にPRし、交流人口の拡大を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○「五島の日」を契機とし、町内外に町の魅力を広くPRし、交流人口を拡大するイベントを開催する。			○「ざあーまに撮って！上五島フォトコンテスト2016」の開催（H28.5.10～H28.10.20） ・フォトコンテスト応募数120点（町内83点、町外37点） ・フォトコンテスト応募者数53名（町内26名、町外27名） ○五島の日啓発活動実行委員会補助金 ・のぼり作成、ポスター作成、 ・平成29年度イベントに向けた企画等の協議			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	1,632千円	560千円				1,072千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○フォトコンテストにより、ふるさとの魅力を再発見するとともに、受賞した作品を町ホームページやSNSで全国に島の魅力を発信することができた。			○平成28年度はイベント開催はしなかったが、平成29年度に向けた準備や関係団体等との協議を行った。本町住民の連帯感の醸成に寄与できるイベントが開催できるかが課題である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○イベントの企画段階から住民の代表に参加いただき、町をあげての取り組みにする。						

担当課評価	C	○フォトコンテストの開催に伴うSNSでの情報発信により、約1万2千人に島の魅力が発信できたが、イベントが開催できなかった。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	④	「四季を味わう上五島」推進事業	
担当課名	観光商工課		所属長名 安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○新上五島町の自然、歴史、文化を活かした観光イベントを実施することで地域に賑わいを生み、かつイベントの魅力を情報発信することによって、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。また、各種媒体とのタイアップや観光キャンペーン等開催を通じた島外への情報発信、旅行会社を訪問する等の誘致活動を実施することにより、観光客の誘客を促進する。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○探訪～四季を味わう上五島実行委員会に対して補助金を交付する。 ○実行委員会では、四季折々のイベント「ほたるのふるさと相河川まつり」「蛤浜で遊ぼデー＆白砂の芸術祭」「上五島教会めぐりウォーク＆クルーズ」「チャーチウィークin教会コンサート」「五島列島ノルディックウォーク」の開催や、国内、国外（特に韓国）の旅行会社やメディア等への情報発信を行っている。			○探訪～四季を味わう上五島実行委員会に対して、16,870千円を補助した。 ・四季折々の観光イベント開催 ・クルーズ客船誘致事業 ・外国人観光客受入体制整備事業 などを実施			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	16,870千円				4,000千円	12,870千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○補助金を交付し各種事業を展開したことで、各観光イベントの集客やそれに伴う情報発信の効果で交流人口の拡大が図られた。また、クルーズ客船が過去最高の8回の寄港に繋がった。			○様々な事業を行い、観光客の受入体制の充実を図るためには、観光関係団体、地元事業者、地域住民の方などと連携して一体となった取り組みが今後必要である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○今後も交流人口の拡大を目指し、観光物産協会をはじめ、観光関係団体と連携を図りながら、また、地域住民の方にもご協力をいただきながら、更なる観光客の受入体制の構築に向け努めていく。						

担当課評価	B	○四季を通して観光イベントを実施することにより、観光情報発信及び国内外からの観光客誘客活動により交流人口の拡大が図られた。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	⑤	EV&ITS実配備促進協議会補助事業	
担当課名	観光商工課		所属長名 安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○電気自動車（EV）普及の世界情勢を踏まえ、既存の急速充電器システムの管理や更新と、環境・エコの島のイメージを観光振興による交流人口の拡大等、地域活性化につげることを目標として「新上五島町EV・ITS利用促進協議会」を活用し、効果的な事業の推進を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○新上五島町EV&ITS実配備促進協議会で58台のEV車を所有し、町内交通事業者・観光関係事業者に貸与し運用している。また、町内に急速充電器設備8ヶ所(13基)を設置し運用を行う。				○EV&ITS実配備促進協議会補助 4,334千円 ・急速充電器等機器の整備補修、維持管理及び運用を実施。 ・三菱自動車工業の協力により、レンタカー使用のEV車本体電池交換を実施。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	4,334千円					4,334千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○急速充電器基盤取替え(修繕)行い、電気自動車インフラの維持に務めた。 ○EV車 本体電池交換により、EV車(レンタカー使用車)の走行距離がのび、利便性が高まった。				○事業開始から8年目を向かえ、EV車車体外装等劣化が生じている。急速充電機器の部品等劣化が生じている。また、EV車の進歩により、急速充電器の型が古くなっており、新車両に対応できない状況が生じている。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○EV車を含め、新上五島町環境・エコ等の方針や新エネルギー転換など施策をあわせた取組が必要。急速充電器の課金型導入などインフラを計画的な整備や、民間型に移行できるような方向性を示す計画を確立する。						

担当課評価	C	○次世代型電気自動車産業が活性化するまで、事業にて取得しているEV車及びEV利用促進協議会組織の現状維持に務める。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	⑥	観光物産協会補助事業	
担当課名	観光商工課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○本町の観光・物産業者の組織体制の基盤を強化し、本町を訪れる観光客に対して、満足度の高いサービスを提供できるよう、受入体制の整備充実を図る。また、島外からの観光客誘致を進めるとともに、新たな旅行商品の開発にも取り組むなど、観光物産の振興発展に中心的役割の充実を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○観光物産展の参加、島外への情報発信など、誘客活動を精力的に行った。 ○探訪～四季を味わう上五島実行委員会主催のイベント等に事務局として積極的に参加し、町の観光物産振興事業に取り組んだ。また、着地型旅行商品の企画実施をはじめ、「五島神楽」、「漁師の朝飯」、ガイドの会のとりまとめ受付業務などにも取り組んでいる。				○観光物産協会補助 16,092千円 ①旅客ターミナル等で観光案内業務などを実施（各港及び五島うどんの里等、4ヶ所設置） ②着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」を企画実施（118名参加） ③「五島神楽」や「漁師の朝飯」による観光客誘客に取り組んだ。（五島神楽 21件／461名。漁師の朝飯 49件／1,383名）		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	22,003千円					22,003千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○観光物産振興事業に、積極的に取り組み、交流人口の拡大及び地域経済の活性化に大きく貢献している。				○世界遺産登録を控え、観光物産協会の役割は更に大きくなることが予想されるため、組織体制の強化が課題である。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○観光物産振興の発展に中心的役割を果たす観光物産協会の組織体制の強化を図り、今後も連携を図りながら、世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の整備に努めていく。						

担当課評価	B	○観光物産協会は、観光物産振興事業に積極的に取り組み、交流人口の拡大及び地域経済の活性化に大きく貢献しているため、引き続き支援していく。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	4	地域資源を活かした「魅力あるしま」をつくる	
施策名	(2)	魅力ある観光地を創り、国内外から人を呼び込む	
	1	にぎわいを生む観光地づくり	
事業名	⑦	島の食材を活かした料理開発事業【新規】	
担当課名	観光商工課		所属長名 安 永 佳 秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○島内の食材を生かした料理メニューの開発・島内飲食店等での提供により、観光客の満足度向上、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○有名料理人による実地料理研修会を開催し、島の中で入手がしやすい島の食材を活かしたインパクトのある島らしい料理メニュー（観光客向け及び島民向け）を開発し、島内の宿泊施設や飲食店で提供することで観光客の満足度が高められ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図るとともに、食材の新たな加工品開発に繋げる。				○特産品マーケティング事業で飲食店フェアを開催し、パートナーシップ協定事業において首都圏の料理人を産地に招聘し、島の特産品や野菜、魚等を見ていただき、地元の生産者とも意見交換を行い、新たな料理開発につなげました。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○特産品マーケティング事業で実施した飲食店フェアにおいて、地元の産品を使ったメニューを首都圏の方にPRすることができた。				○新たなメニューについては、地元の飲食店でも食べることができるようにする必要がある。原材料となる産物の収量を増やす必要性がある（例：平干し大根）		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○島内の原料生産者に対して首都圏等の飲食店の要望事項、観光客の要望事項について情報を提供し、意思統一を図る。						

担当課評価	B	○特産品マーケティング事業で実施した飲食店フェアにおいて、地元の産品を使ったメニューを首都圏の方にPRすることができた。今後も継続して事業を実施する。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。